

日本教育メディア学会

学 会 通 信 第 48 号

学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>
2009年5月31日発行

事務局

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

電話:042-329-7344

E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

第16回日本教育メディア学会年次大会の開催にあたって

大会準備委員長 生田 孝至

来る平成21年9月12日(土)と13日(日)の二日間、第16回日本教育メディア学会の年次大会を、新潟大学で開催することになりました。

まだ、準備段階ですので、詳しいスケジュール等は確定しておりませんが、「公開シンポジウム」、「課題研究」、「開催校企画」は以下のように計画しております。

シンポジウム	「現代社会におけるメディアの影響—ケータイと子どもの関係を問う」
課題研究Ⅰ	「日本の教育メディア研究に尽くした人たち」
課題研究Ⅱ	「授業を豊かにするメディア」
課題研究Ⅲ	「テレビ離れとインターネット視聴」
開催校企画	公開ラウンドテーブル「教師というメディア」

シンポジウム及び開催校企画は公開とし、本学会会員に加え、会員外のどなたでも参加できるようにしてあります。お近くの非会員、学生の皆様方にお知らせいただき、お誘いいただきますと幸いです。

シンポジウムは、急速に普及しているケータイを取り上げ、多角的な視点から子どもとメディアとの関係を考えます。課題研究では、「日本の教育メディア研究に尽くした人たち」、「授業を豊かにするメディア」、「テレビ離れとインターネット視聴」という切り口から、教育メディア研究のこれまでとこれからのについて議論したいと思います。開催校企画は「教師というメディア」と銘打ち、教育メディアとしてみた教師の授業における機能と、教師の成長について検討します。

大会会場となる新潟大学五十嵐キャンパスは、新潟市中心部(新潟駅周辺)からは電車・徒歩で40分ほどの閑静な地域にあります。NHK大河ドラマ「天地人」の舞台である新潟県上越市までは電車で3時間、自然復帰に向けて朱鷺の放鳥に沸く歴史と自然の島「佐渡島」まではジェット高速船で1時間という絶好のロケーションにあり、皆様方をお迎えする9月上旬は新潟の四季の中でも爽やかな時期となります。「新潟といえば雪」というイメージをお持ちの方も、お越しいただければそのイメージが大きく変わることと存じます。

幅広い方々からの研究発表の応募やご参加を期待しております。

第16回 日本教育メディア学会年次大会

I. 開催期日・会場等

期日：平成21年9月12日（土）、13日（日）

会場：新潟大学教育学部（新潟市西区五十嵐2の町8050）

II. 大会日程

	時間	プログラム	会場
9月11日（金）	14:00-15:30	編集委員会	ガレソホール(東横イン)
	16:00-17:30	現理事会	ガレソホール(東横イン)
	18:00-20:00	新理事会	ガレソホール(東横イン)
9月12日（土）	9:30-10:00	受付	
	10:00-12:00	自由研究発表	教育学部講義棟
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-13:40	総会	教育学部D204講義室
	14:00-15:30	シンポジウム	教育学部D204講義室
	15:40-17:40	課題研究発表 開催校企画	教育学部講義棟
	18:00-19:30	懇親会	生協第1食堂
9月13日（日）	9:00- 9:30	受付	
	9:30-11:30	自由研究発表	教育学部講義棟
	12:00-13:00	昼食	
	13:00-15:00	自由研究発表	教育学部講義棟

大会の時間等は、発表申し込み件数等によって変更がありますので、詳細な日程等はプログラムとともに、次号でご案内します。

なお、大会前日の9月11日（金）午後2時から午後3時30分まで学会編集委員会を、同午後4時から午後5時30分まで現理事会を、同午後6時から午後8時まで新理事会を、それぞれ開催します。

III. 大会プログラムの概要

1. シンポジウム

「現代社会におけるメディアの影響—ケータイと子どもの関係を問う」（公開）

（コーディネータ：生田 孝至）

高度通信情報社会は従来のメディアと人との関係を、一方向性のコミュニケーションから双方性のコミュニケーションに変化させるとともに、送り手の顔が見えない匿名性の高いサイトへのアクセスをも可能とした。ケータイの機能は高度になり便利になるとともに、有害サイトへのアクセス、裏サイトでのいじめなど、子どもたちにとって良くない影響をもたらしている。学校へのケータイ持ち込み禁止などによる対応がなされているが、社会の進展は子どもの世界から完全にケータイを締め出すことは困難であろう。このシンポジウムでは、ケータイと子どもの関係を、メディア社会学、メディア教育、子どもとメディアといった識者の見解を手掛かりにこの課題を検討する。

2. 課題研究（公募）

【課題研究Ⅰ】日本の教育メディア研究に尽くした人たち（コーディネータ：中野照海）

私たちは教育メディア研究に関わって、先人たちの研究を参考にして研究と実践を進めてきた。この過程で、私たちが参考とした研究者、例えば、デール、波多野完治、スキナー、ブルーナーなどの先輩を取り上げて、その教育思想、メディア研究へのかかわり、今後の研究への示唆などを紹介する。この場合、かならずしも、著名な大家に限らず、自分が興味を持ち、影響された人たちを取り上げることも歓迎である。

【課題研究Ⅱ】授業を豊かにするメディア（コーディネータ：宇佐美昇三）

ビデオ、パソコン、プロジェクト、パワーポイントなどのハード・ソフトの進歩は授業や演示の技術を大いに向上させた。しかし、授業でそれらがどのような考えで、どう使われているかについて、十分に吟味されているとは言い難い。授業を豊かにするという視聴覚教育の原点に立ち返り、実例に基づいて検討したい。その際、1. いっそう進んだメディアの使い方、2. 授業形態自体の改革、3. 電子機器を全く使わないで進める教育活動といった視点を手がかりとしたい。教育現場にとって授業とはなにか、メディアによって授業がいかに豊かになるのかを改めて聞きたい。

【課題研究Ⅲ】テレビ離れとインターネット視聴（コーディネータ：村野井均）

若者のテレビへの関心が弱くなり、テレビを見ないだけでなく、番組欄を調べない者もいるようになった。視聴者がザッピングを行うので、放送局が対策として細切れな番組を作り、それが視聴者のテレビ離れを引き起こしたというだけでは説明できない現象が起きている。なぜテレビを見ないのか、ネット視聴の実態はどうなっているのか、若者だけの現象なのかなど、実態把握を急ぐ必要がある。研究の少ない領域であるため、パイロットスタディーや試論を出し合いたい。

3. 開催校企画（公募しません）

「教師というメディア」（コーディネータ：丸山裕輔）

教師はシナリオライターであり、演者であり、監督であり、時に監督でもあるといわれる。子供たちと授業を創造する過程において、教師は最大のメディアといってよい。教師というメディアが教科書を使い、資料を使い、活動を組織し、学習を促進する。メディアとしての教師は、成長によってのみその機能を発達させる。このラウンドテーブルでは、何が教師を成長させるのかについて、事例発表をもとに検討する。（公開）

IV. 研究発表（課題研究・自由研究）について

1. 発表者の要件

・発表者は会員であることが必須です。発表申込時点までに本学会への入会手続きを済ませてください。なお、入会申込書は学会ホームページからダウンロードしてください。

(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>)

・会員1名が発表できる件数は、課題研究1件、自由研究1件、計2件までとします。

2. 課題研究プロポーザル期限

平成21年6月30日（金）必着（厳守）

同封の課題研究プロポーザル（学会ホームページからダウンロードもできます）に必要な事項を記入の上、原則電子メール（または郵送）により、大会事務局あてに提出してください。課題研究ごとに最大で5件を予定しておりますので、査読の結果によっては一般発表に回っていただくことをお願いする場合もございます。採否の通知については、7月10日頃を予定しております。

3. 自由研究発表及び課題研究発表 原稿送付期限

平成21年7月24日（金）必着（厳守）

原稿受領をもって発表申し込みとさせていただきます。原稿枚数、書式をご確認の上、原則電子メール（または郵送）により大会事務局あてに提出してください。郵送の場合は、到着を確認していただくため宛先は投稿者のご住所を予めご記入の上、**返信用ハガキを同封**下さい。

4. 提出原稿の書式・枚数

（1）原稿の書式

別紙、「学会研究会等発表論文集原稿執筆例」を参照の上、原稿を作成してください。**PDFファイル形式での原稿提出をお願いします。**PDFファイル形式で提出できない場合は、原稿が汚損しないようにして郵送にてお送りください。

（2）原稿の枚数

課題研究はA4版用紙×2枚または4枚、自由研究はA4版用紙×2枚とします。

5. 発表時間

自由研究（口頭発表）の発表時間は1件あたり20分（発表15分、質疑4分、交代1分）を予定しています。発表件数等によって時間が短縮等されることがあります。座長は発表者の中から依頼させていただきます。

6. 発表用機材

各会場に、MS Office XPがインストールされたWindowsパソコンとプロジェクタを用意します。利用可能な媒体は、USBメモリまたはCDです。これ以外の機材、ソフト等を使用する場合及びハンドアウトなど配布資料は、各自でご準備ください。

V. 大会への参加について

1. 参加申込票の提出

同封の参加申込票（学会ホームページからダウンロードもできます）に必要事項を記入の上、**7月24日（金）**までに郵送または電子メール添付により大会事務局あてに提出してください。

2. 大会参加費

大会参加費は、同封の払込用紙に必要事項を記入の上、**7月24日（金）**までに払い込みください。払込手数料は各自負担をお願いします。紛失されたときは、郵便局に備え付けの用紙で払い込みください。大会参加費及び払い込み先は下記の通りです。参加費は、不参加の場合でも返金できません。

なお、同封の「払込取扱票」では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。

<参加費>

区分	当日（発表論文集代を含む）	事前振込（7月24日（金）まで）
一般会員	5,500円	5,000円*
学生会員	3,500円	3,000円*
一般参加者（非会員）	4,000円	

*「事前」とは、事前申込者に対する割引特典のことで、7月24日（金）までに払い込みを完了した会員のみが対象となります。

<払い込み先>

口座番号： 00560-2-48757

加入者名： 第16回日本教育メディア学会年次大会事務局

通信欄： 大会参加費、懇親会費の内訳、及び参加者の氏名・所属を記入してください。

3. 発表論文集

1冊 2,500円（会場受付にて手渡します）

会場に来られない場合は、別途送料500円にてお送りします。

VI. 大会事務局

課題研究プロポーザル、発表論文集原稿提出、参加申込は、下記の大会事務局にて受け付けます（大会事務局は新潟大学ではなく、下記のように、新潟医療福祉大学です）。

〒 950-3198新潟市北区島見町1398番地
新潟医療福祉大学健康科学部（後藤研究室）
第16回日本教育メディア学会年次大会事務局
電子メール： jaems09@nuhw.ac.jp

会場担当校へのお問い合わせ先は次の通りです。

新潟医療福祉大学健康科学部（後藤研究室）
〒 950-3198新潟市北区島見町1398番地
第16回日本教育メディア学会年次大会事務局
電話：025-257-4692
電子メール： gotoh@nuhw.ac.jp

VII. その他の情報

1. 懇親会

大会第1日目の夜に、会場内の食堂で懇親会を予定しております。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日時： 9月12日（土）18:00～19:30

場所： 新潟大学生協第一食堂

会費： 5,000円

2. 大会期間中の昼食・宿泊等について

（1）昼食

会場周辺のレストラン、食堂などをご利用ください。学内にはコンビニもございますので、ご利用ください。

（2）宿泊等

宿泊の手配は各自でお願いします。

3. 会場までのアクセス

新潟大学のホームページhttp://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/id/ikarashi_map.htmlをご覧ください。

（1）新潟駅からのアクセス

- ・JR越後線：新潟駅～新潟大学前駅下車（20分）、新潟大学まで徒歩（15分ほど）
- ・新潟交通バス：新潟駅～新大西門下車（45分）
- ・タクシー：新潟駅～新潟大学（30分）

(2) 新潟空港からのアクセス

- ・新潟交通バス：新潟空港～新潟駅（25分）、その後バス・JR線・タクシー
- ・タクシー：新潟空港～新潟大学（40分）

（バスの時間等について、次号の通信でご案内します）

4. 編集委員会・現理事会・新理事会の会場：ガレッソホール案内図



◆ 編集委員会からのお知らせ ◆

【機関誌『教育メディア研究』（第16号第1巻）「特集」への投稿原稿募集】
- 特集「国際理解・協力におけるメディア活用」（仮題） -

前号でお知らせしたように、第16巻第1号（2009年11月発行予定）に「特集論文：国際理解・協力におけるメディア活用」（仮題）を掲載する準備を進めています。

国際理解等におけるメディア活用について、コンテンツと手段等の多様な側面から発展的に論じていただきたいと思います。

■ 投稿要領 ■

投稿に際しては、表記の方法など、詳細を「投稿規定」（学会誌の表紙裏、または本学会ホームページに掲載）をご覧ください。また、査読や入校を円滑かつ迅速に進めるために、英文要約と英語のキーワード表記については、ネイティブチェックを行うなどして十分にご配慮ください。

- ・原稿締め切り：2009年5月末日
- ・字数制限：図表を含み5000字から6000字

■ 投稿あて先等 ■

投稿に際しては、次の書類等を下記「投稿先住所」まで、簡易書留でご送付ください。

- ・必要事項すべて記入済みの投稿票（本学会ホームページからダウンロードできます）
- ・投稿原稿を4部（原本1部とそのコピーを3部）
- ・原本が収められた記録媒体（フロッピーやCD-ROMなど）

<投稿先住所> 184-8501 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育学研究室内
日本教育メディア学会事務局内「学会誌編集委員会」宛
(封筒の表に「投稿原稿在中」と朱筆)

「特集」に関わりなく、「教育メディア研究」は、常時、投稿原稿を受け付けております。

学会ホームページから、「投稿票」など投稿に必要な書類をダウンロードし、論文種別、郵送部数、書留による郵送、必要事項を十分にご確認の上、ご投稿ください。なお、表記の方法、論文の種別に応じた字数制限などにも、特にご留意ください。

◆ ICoME2009 (International Conference of Media in Education 2009) ◆
国際会議のお知らせ

表記の会議は、The International Symposium and Conference for Educational Media in School in 2009 と題し、2009年8月27日から30日までの間、ソウル国立大学で開催されます。

シンポジウムのテーマは、The Effective Utilization of Information and Communication Media and Technologies in Education で、Korean Association for Educational Information and Media (KAEIM) と、Japan Association for Educational Media Study (JAEMS)の協力により開催されます。

- (1) 開催場所 ソウル国立大学（韓国、ソウル）
- (2) 開催月日 8月27～30日
- (3) 一般発表申込締切（タイトル、概要のみ提出）：2009年3月末日
- (4) 一般発表論文提出締切：2009年6月末
- (5) ラウンドテーブル発表申込と論文提出締切：2009年6月末
- (6) 参加申込締切：2009年6月末

なお、最新の情報は、本学会ホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>) をご覧ください。

【会員情報】

新入会員

<正会員>

西貝 雅人 ((株)NHK アイテック) 花木 喜秀 ((株)株式会社レビックグローバル)
野村 正弘 (駿河台大学) 佐藤 知条 ((財)日本放送教育協会)
朴 延子 (愛知教育大学) 田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)

<学生会員>

瀧口 美絵 (広島大学大学院)

<購読会員>

千葉市書店協同組合

退会者

村井 護晏 矢田 光宏 家野 宰輔 牧野 由香里

会員総数 366名・団体

名誉会員 1名

正会員 299名

学生会員 48名

団体会員 7団体

購読会員 11団体

(平成21年5月15日現在)

◇ 任期満了(2008年度末)にともなう「会長・理事選挙」の日程(予定) ◇

2009年(平成21年)4月19日(日)	選挙管理委員会開催
同5月24日(日)	公募案内郵送
同6月1日(月)～6月15日(月)	公募受付期間<消印有効>
同6月22日(月)	会長・理事選挙案内郵送
同7月6日(月)～7月20日(月)	投票期間<消印有効>
同7月25日(土)	開票
同9月11日(金)	新旧会長・理事による理事会
同9月12日(土)	2009年度定例総会(新会長・新理事の承認、ほか)

◆ 学会費納入のお願い ◆

本学会会費は、前納制です。

未納の方は、本学会通信前号に同封されていた「郵便振替用紙」あるいは郵便局備え付けの「郵便振替用紙」を用いて、必要事項をご記入の上、2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日)会費納入をお願いいたします。

なお、前年度までの会費を未納の方は、年度を明記の上、合わせて、納入をお願いします。

日本教育メディア学会 事務局

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育学研究室内

電話 042-329-7344

学会ホームページ URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>

E-メール shijaems@u-gakugei.ac.jp

郵便振替口座 00130-4-103021